2204875H26401

MITSUBISHI ELECTRIC

三菱 脱衣室暖房機（壁掛タイプ）

形 名

ダブルディー ディーケィ アールシー

WD-240DK2-RC

据付説明書

販売事業者・据付事業者様用

■この製品の性能・機能を十分に発揮させ、また安全を確保するために、正しい据付が必要です。
据付の前に、この説明書を必ずお読みください。
■本製品は消防法基準適合品です。
■本製品は住宅用です。業務用途では使用できません。

本製品の施工にあたっては、地域により防災上での制限（火災予防条例に基づく指導）がありますので、詳細は行政官庁または所轄の消防署にお問い合わせください。（本製品は（一社）日本電機工業会で定める自主試験基準に適合しております）

もくじ

1.安全のために必ず守ること …… 2
2.使用部品と使用箇所 …… 3
3.据付場所の選定 …… 4
4.据付方法 …… 5～10
5.据付後の確認 …… 11
6.試運転 …… 11
7.お客様への説明 …… 11
8.不具合対処 …… 裏表紙

1.安全のために必ず守ること

誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

⚠警告	⚠注意
誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの	誤った取扱いをしたときに軽傷または家屋・家財などの物的損害に結びつくもの

本文中や本体に使われている図記号の意味は次のとおりです。

禁止	水ぬれ禁止	風呂・シャワー室での使用禁止
分解禁止	アース線を必ず接続せよ	指示に従い必ず行う

⚠警告

禁止

本体は絶対に浴室には据付けない
ショート・感電の原因

直接災のあたるおそれのある場所には据付けない
火災の原因

壁スイッチを経由した電源接続は行わない
スイッチの容量不足による火災の原因

制御アダプター接続コードを高温になる部分に触れさせない
過熱による火災の原因

制御アダプター接続コードを鋭い角部に触れさせない
被覆のやぶれによる感電の原因

心臓ペースメーカー等を装着している方は据付けない
ペースメーカーの動作に影響を与える原因

水ぬれ禁止

製品を水につけたり、水をかけたりしない
充電部への水浸入により、感電やショートの原因

分解禁止

改造や工具を必要とする分解はしない
内部部品との接触により、火災・感電・けがの原因

風呂・シャワー室での使用禁止

浴室内に制御アダプターを据付けない
感電・漏電の原因

アース線を必ず接続せよ

アースを確実に取付け、漏電しゃ断器を設ける
故障や漏電のときに感電の原因

指示に従い必ず行う

本体はねじを使って確実に固定する
落下によるけがの原因

制御アダプター：交流100Vを使用する
交流100V以外を使用すると火災や感電の原因

本体：単相交流200Vを使用する
単相交流200V以外を使用すると火災や感電の原因

金属製ダクトがメタルラス張り、ワイヤラス張り、ステンレス板などの金属と電気的に接続しないように据付ける
接続されていると漏電した場合火災の原因

電源電線の接続は確実に行う
不確実な接続は接続部が過熱して発火の原因

電気工事は電気設備の技術基準や内線規程に従って有資格者が安全・確実に行う
接続不良や誤った電気工事は感電・火災の原因

本体は床から1.7m以上の場所へ据付ける
けがの原因

⚠注意

禁止

制御アダプターは壁据付用です
天井には据付けない
落下によるけがの原因

指示に従い必ず行う

十分に強度のある所を選んで確実に据付ける
落下によるけがの原因

部品の取付けは確実に行う
落下によるけがの原因

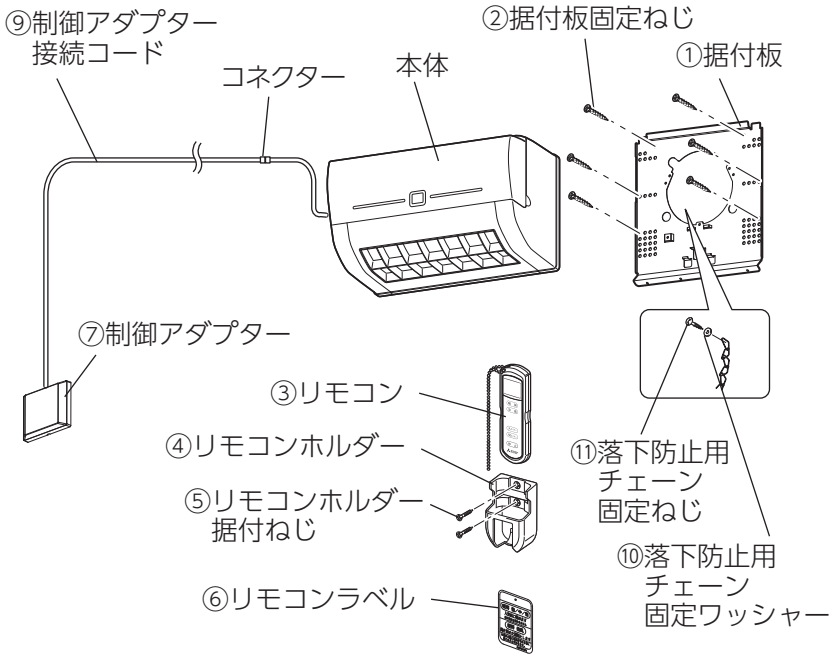
据付けの際は手袋を着用する
着用しないと、けがの原因

据付けは、販売事業者様、または、専門の据付事業者様が実施する
間違った据付は事故の原因

据付部品は、必ず付属部品および指定の部品を使用する
当社指定部品を使用しないと事故の原因

お客様ご自身での据付は事故の原因になります

2.使用部品と使用箇所（外形寸法図）



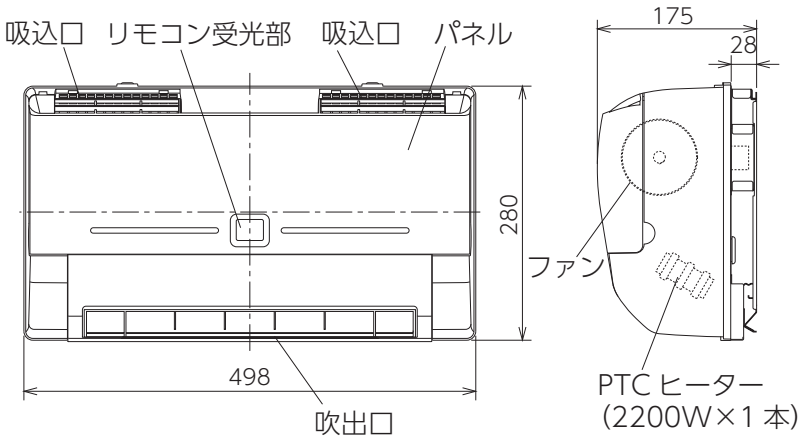
■付属品

No.	名称	数量
①	据付板	1枚
②	据付板固定ねじ（4×25）	6本
③	リモコン	1個
④	リモコンホルダー	1個
⑤	リモコンホルダー据付ねじ（3.5×32）	2本
⑥	リモコンラベル	1枚
⑦	制御アダプター（無線LANアダプター内蔵）	1個
⑧	制御アダプター据付ねじ（4×25）	2本
⑨	制御アダプター接続コード（15m）	1本
⑩	落下防止用チェーン固定ワッシャー	1個
⑪	落下防止用チェーン固定ねじ（4×50）	1本
⑫	本体据付ねじ（4×12）	2本
⑬	アース固定ねじ（4×8）	1本
⑭	単4アルカリ乾電池	2個
⑮	壁固定金具（シート付）	2個
⑯	取扱説明書	1冊
⑰	据付説明書	1冊
⑱	「MyMU」アプリ設定用取扱説明書	1枚

■現地で準備していただく部品

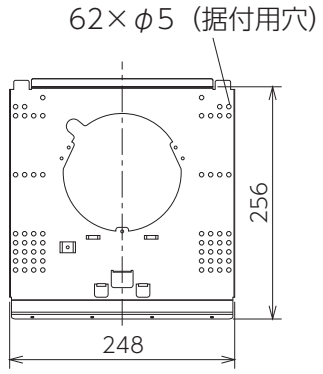
・単相交流200V電源ケーブル（600V定格、VVFケーブルφ2）
・交流100V電源ケーブル
・アース線（銅線直径φ1.6以上（または断面積が1.25㎜²以上））
・アース棒

■本　体



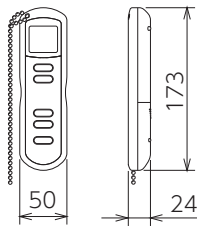
単位（mm）

■据付板



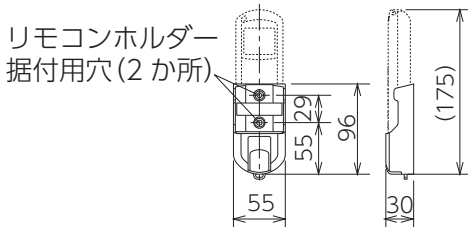
単位（mm）

■リモコン



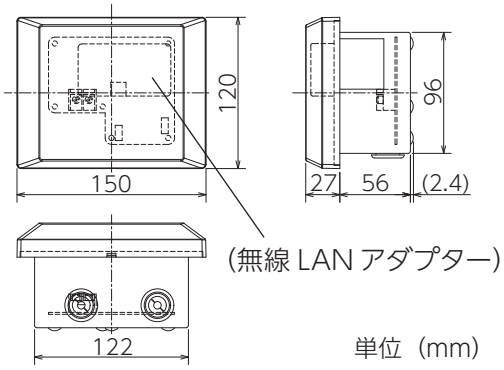
単位（mm）

■リモコンホルダー



単位（mm）

■制御アダプター



単位（mm）

3.据付場所の選定

■**この製品は、住宅の脱衣室の壁面据付け専用です。**
脱衣室以外の場所への据付け、天井面への据付けはしないでください。

■**脱衣室の標準適用サイズは1坪（1.6m×1.6m）です。（最大1.5坪（1.6m×2.4m）まで対応）**
脱衣室が広くなると、暖房効果が減少します。

■**脱衣室が大きい場合、窓が大きい場合、タイル貼りの脱衣室、天然石の壁や床、その他断熱が悪い場合、暖房効果は減少します。**

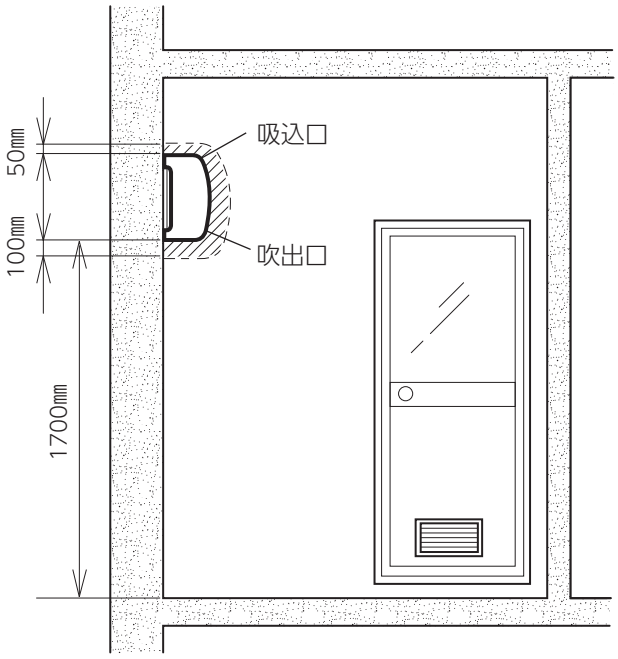
■**地域により防災上での制限（火災予防条例に基づく指導）が異なりますので、行政官庁または所轄の消防署にお問い合わせください。**

■**下記の場所には据付けないでください。**
- **つねに高温（40℃以上）になるところ**（高温では、サーモが働きヒーターが通電しません）
- **温泉の脱衣室やプール等**（故障の原因）
- **傾斜した壁面**（故障の原因。結露水がパネルから滴下します）
- **有機溶剤やスプレーを使う場所**（故障の原因）

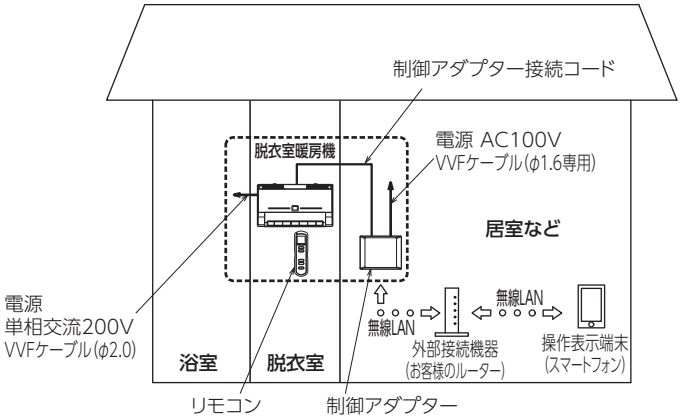
■**据付け上のお願い**

【電源工事】
- **電源ケーブル、制御アダプター接続コードは本体がおろせるように約2mの余裕をもたせる。**
（短いとメンテナンスができなくなります）
- **制御アダプター接続コードは照明用の電源ケーブルや本製品の電源ケーブルと別配線し、10mm以上離して配線してください。**（誤動作の原因）

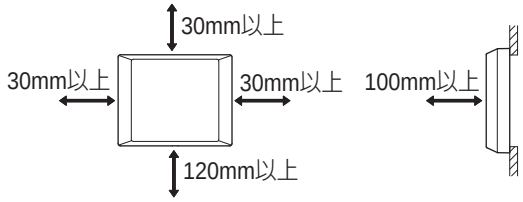
【その他】
- **本体下方100mm未満、本体上方50mm未満の範囲には造営材等（乾燥させる洗濯物および吊下げ用パイプを含む）を設けないでください。**



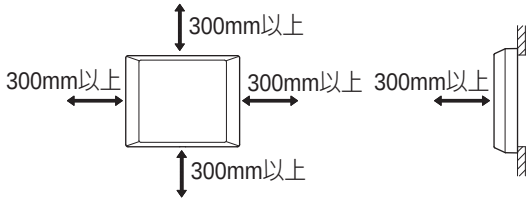
【制御アダプター】
- **外部接続機器近傍（同室空間）に取付けてください。離れた場所に設置すると通信が不安定になることがあります。**



- **外部接続機器との距離が極端に近いと電波干渉して通信が不安定になることがあります。その場合、外部接続機器から少し離してください。**
- **医療電気機器の近くなど、電波による影響が人体または人命への重大な損害に関わるような場所には設置しないでください。**
- **他の無線機器、電子レンジなどの高周波機器と電波干渉の無い場所へ設置してください。**
- **幼児の手の届くところには取付けないでください。**
- **外部接続機器と制御アダプターとの接続時に無線LANアダプターの操作が必要となります。制御アダプターは操作しやすい位置に取付けてください。**
- **周囲温度0～40℃、湿度20～90%RH以内、温度変化で結露しない屋内に設置してください。**
- **次の条件に合った場所に設置してください。**
  - ・本体を十分ささえられ振動がでない強度のある所
  - ・床面より1.8m以下で無線LANアダプターの設定が可能な場所
  - ・直射日光が当たらない所
  - ・湯気、水しぶきや油のかからないところ
  - ・テレビ、ラジオより1m以上・テレビのアンテナより3m以上離れた所（映像の乱れや、雑音が生じることがあります。電波の弱い地域では前記の距離を離してもテレビ、ラジオなどにノイズが入る場合があります。その場合はノイズが入らなくなるまで離してください）
- **下記の寸法を守って設置場所を選定してください。**
  - ・メンテナンスに必要なスペース



  - ・周辺障害物が金属製品の場合の隔離距離



4.据付方法

据付手順

1 据付け前の準備

2 電気工事

3 本体の据付け

4 リモコンホルダーの据付け

5 風向の調整

6 制御アダプターの据付け

据付後の確認

試運転

1 据付け前の準備

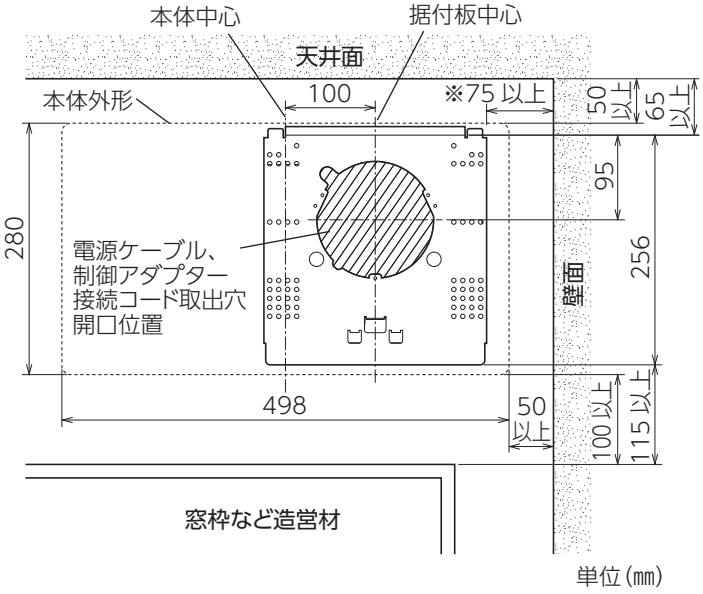
1 開口位置（右図）に電源ケーブル、制御アダプター接続コード取出穴（φ30）をあける

お願い

● この取出穴は電源ケーブル、制御アダプター接続コード等を壁の裏側から引き出すためのものです。取出穴の切り口で電源ケーブルを傷つけないようにしてください。

■ 据付け可能な開口位置・寸法

※ 下記は本体の端を据付板の端に合わせて据付けた場合の寸法です。本体と据付板の中心を合わせて据付ける場合は、「※」の寸法に 100 ㎜以上加えた寸法としてください。

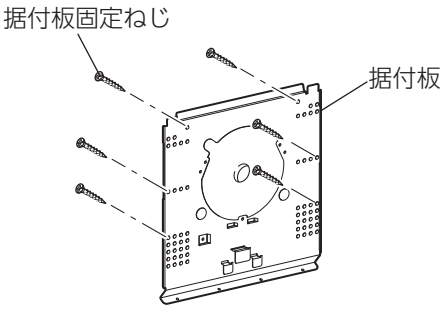


単位（㎜）

2 据付板を付属の据付板固定ねじ６本で固定する

お願い

●背面は十分な補強を行ってください。



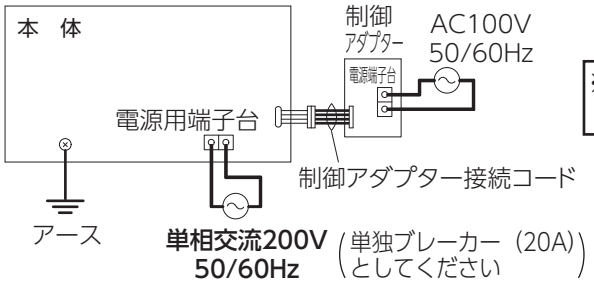
4.据付方法　つづき

2 電気工事

⚠警告

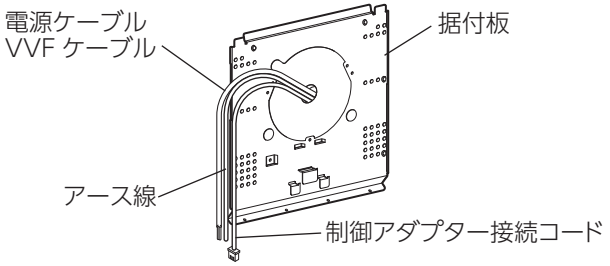
禁止 **壁スイッチを経由した電源接続は行わない** スイッチの容量不足による火災の原因	指示に従い必ず行う **制御アダプターは交流100V、本体は単相交流200Vを使用する** 間違った電源を使用すると火災や感電の原因 **電源電線の接続は確実に行う**　不確実な接続は接続部が過熱して発火の原因 **電気工事は電気設備の技術基準や内線規程に従って有資格者が安全・確実に行う** 接続不良や誤った電気工事は感電・火災の原因

結線図

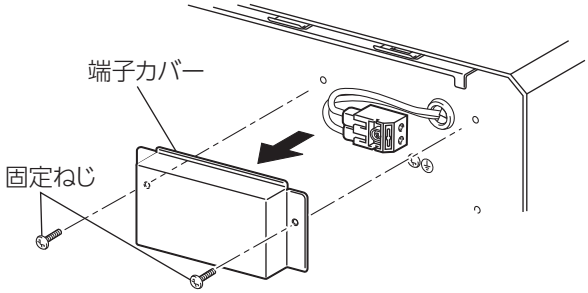


※電線の接続はジョイントボックス内にて行ってください

1 **電源ケーブル取出穴から、配線（電源ケーブル VVF ケーブル φ2.0・アース線）、制御アダプター接続コードを約 2m引き出す**

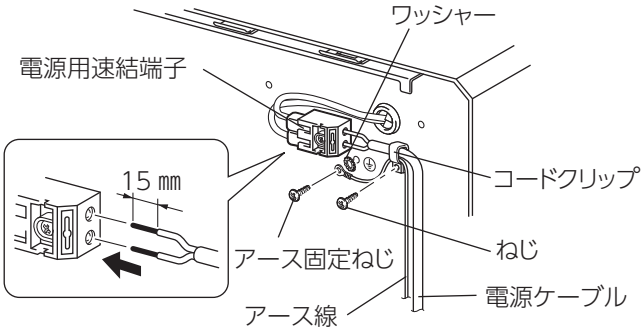


2 **端子カバーの固定ねじをはずし、端子カバーをはずす**

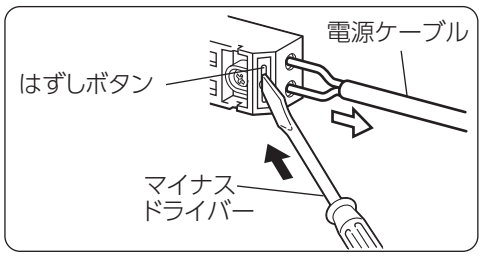


3 **本体の「電源用速結端子」に電源ケーブルの芯線が見えなくなるまで差し込みコードクリップで固定する**
- リード線の皮むき寸法は 15 ㎜です。

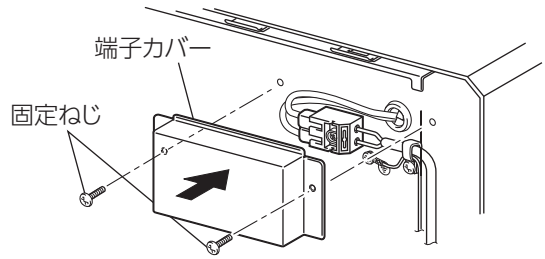
4 **アース固定ねじを使用して、必ずD種接地（アース）工事を行う**



電源ケーブルのはずしかた
電源ケーブルを取りはずすときは、速結端子のはずしボタンをマイナスドライバーなどで押しながら電源ケーブルを引き抜く。



5 元通りに端子カバーを取付ける

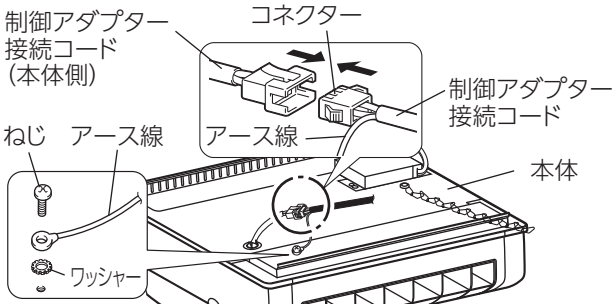


6 本体と制御アダプターを接続する

(1) 制御アダプター接続コードを接続する。
(2) 制御アダプター接続コードのアース線を付属のアース固定ねじ（4×8）1本で固定する。

お願い

- コネクターはカチッというまで確実に接続してください。
- アース線の固定はワッシャーを本体側としてください。



3 本体の据付け

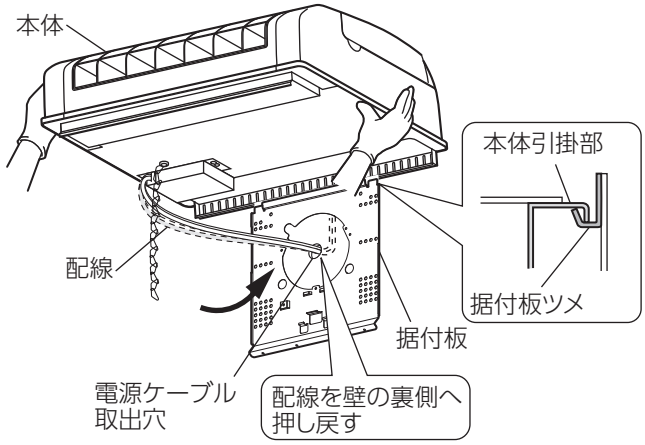
⚠ 警告

本体はねじを使って確実に固定する
落下によるけがの原因

指示に従い必ず行う

1 本体の引掛け部を据付板の上部ツメに引掛ける

- 本体は左右あわせて200㎜スライドできます。
- 本体下方100㎜未満の範囲に造営材などが設けられていないこと、本体上方50㎜以上確保されていることを確認します。
- 本体が据付板からはみ出さないように引掛けます。
- 確実に引掛かっていることを確認します。

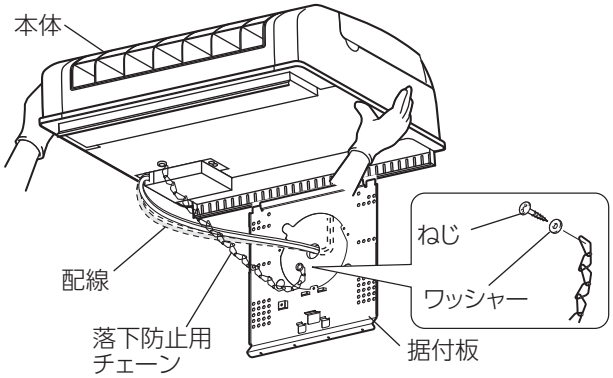


2 本体を手前に持上げて、電源ケーブル、制御アダプター接続コードを壁の裏側へ押し戻す

- 本体を手前に持上げる際、手をかける位置によっては、本体が傾く場合があるのでバランスのよい位置を選んで持上げてください。

お願い

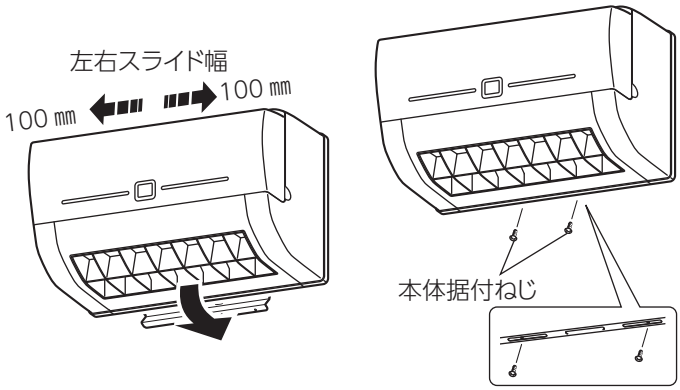
- メンテナンス時、本体をはずせるように配線は後から引き出せる長さを確保しておいてください。



3 壁面の補強された部分に落下防止用チェーンを取付ける

4 本体下部と据付板を付属ねじ2本で固定する

- 本体を据付板に降ろす際、電源ケーブルがかみ込まないように注意する。
- 本体のスライド位置により、ねじ固定位置が異なります。



4.据付方法　つづき

4 リモコンホルダーの据付け

1 リモコンに付属の単 4 アルカリ乾電池 2 本を入れてフタをする

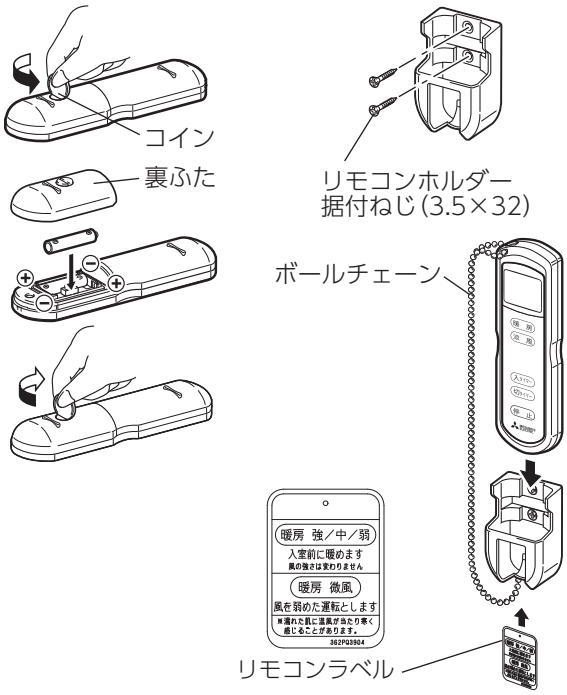
- 裏ふたはしっかりと取付けてください。

2 リモコンホルダーを付属のねじ 2 本で据付ける

- リモコンは生活防水ですが、直接水やお湯がかかる位置には据付けないでください。
- お客様と相談の上、据付位置を決めてください。
- ボールチェーンをはずしてご使用いただくことも可能です。

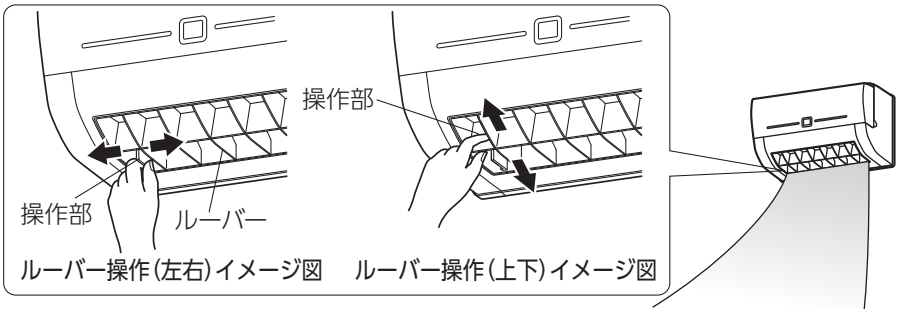
3 リモコンラベルをリモコンホルダー下部のリングまたはボールチェーンに取付ける

- ボールチェーンに取付ける場合は、なるべくリモコンホルダーに近い位置に取付けてください。



5 風向の調整

- **風が脱衣室の中央を向くように、ルーバーの角度を調整してください。**
- **ルーバーの角度の調整は操作部で操作してください。**



6 制御アダプターの据付け

⚠警告

禁止

制御アダプター接続コードを高温になる部分に触れさせない
過熱による火災の原因

浴室内に制御アダプターを設けない　感電・漏電の原因

制御アダプター接続コードを鋭い角部に触れさせない
被覆の破れによる感電の原因

⚠注意

指示に従い必ず行う

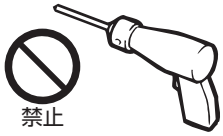
十分に強度のある所を選んで確実に据付ける
落下によるけがの原因

■据付け前の準備

- 本体側に約2m余裕をもって配線してください。

お願い

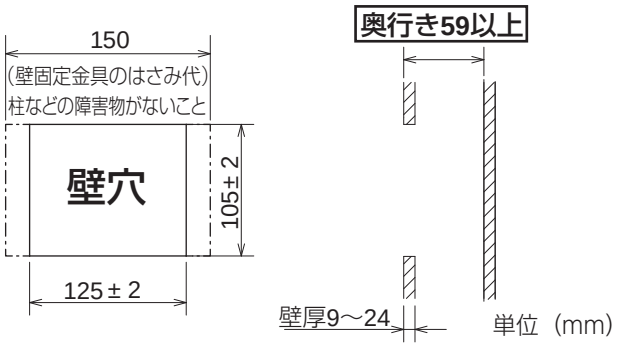
- **電動ドライバーでねじを締めないでください。**
  壁固定金具、アダプターケースは手締めで、締めすぎないように固定してください。



- メンテナンスなどで前面パネルをアダプターケースから取りはずすことがあるため、制御アダプター下方にはマイナスドライバーが入るスペースを確保してください。
- 結露しやすい壁には据付けないでください。壁をつたった結露水が内部に浸入するおそれがあります。

1 電源線、制御アダプター接続コードを配線する

- 電源線を取付穴近くに配線する。
  制御アダプター接続コード（付属品）を取付穴近くと本体に配線する。



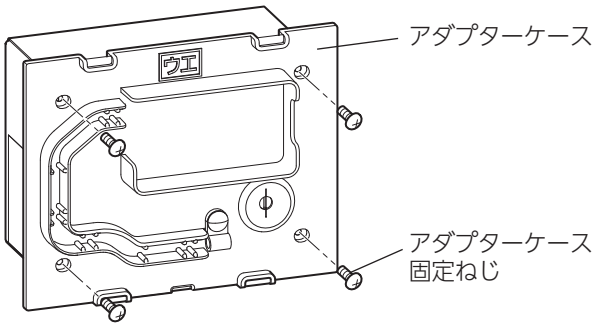
2 壁に取付穴をあける

お願い

- 壁穴が大きいと壁固定（壁固定金具によるはさみ込み）ができなくなるため、注意してください。

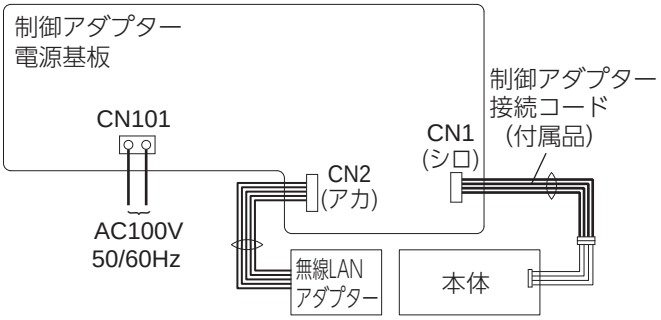
3 アダプターケースをはずす。

アダプターケース固定ねじ4本をはずしてアダプターケースをはずす。
※ねじをなくさないでください。



4 結線をする

■結線図



⚠ 警告

指示に従い必ず行う

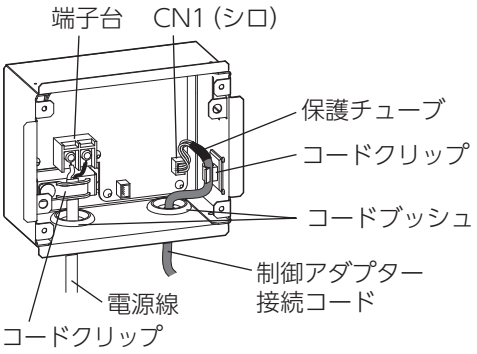
交流100Vを使用する
直流や交流200Vを使用すると火災や感電の原因

電源電線の接続は確実に行う
不確実な接続は接続部が過熱して発火の原因

電気工事は電気設備の技術基準や内線規程に従って有資格者が安全・確実に行う
接続不良や誤った電気工事は感電・火災の原因

（1） 電源線（VVF 2芯 φ1.6）をコードブッシュに通す。

（2） 電源線を皮むきして端子台に接続し、コードクリップで固定する。



お願い

- インパクトドライバーや電動ドライバーを使用しないでください。
- 0.5 ～ 0.98N・m の締付トルクで締め付けてください。

（3） 制御アダプター接続コードのコネクター（シロ）をコードブッシュに通してCN1（シロ､IT端子）に接続し、保護チューブにかからないようにコードクリップで固定する。

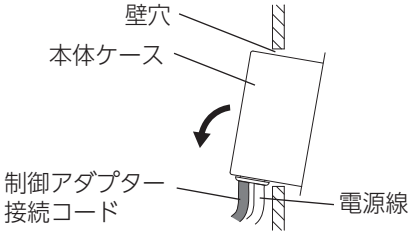
お願い

- コネクターは奥まで確実に差し込んでください。

5 本体ケースを壁穴に差し込む。

お願い

- 電源線、制御アダプター接続コードを本体ケースと壁ではさみこまないよう注意してください。



4.据付方法　つづき

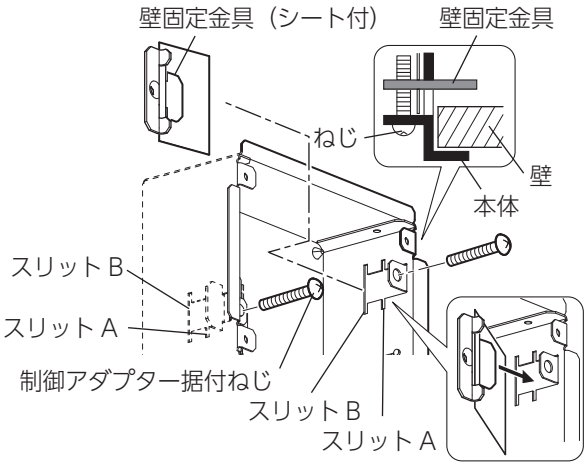
6 壁固定金具を取付ける

(1) 付属の壁固定金具（シート付）を本体内側側面のスリットに差し込む。（アルミテープは突き破ってください）
・壁厚によりスリット位置を選択してください。

単位（mm）

	壁厚
スリットA	9以上～15未満
スリットB	15以上～24未満

(2) 壁固定金具で壁をはさみ、付属の制御アダプター据付ねじで固定する。（2 か所）



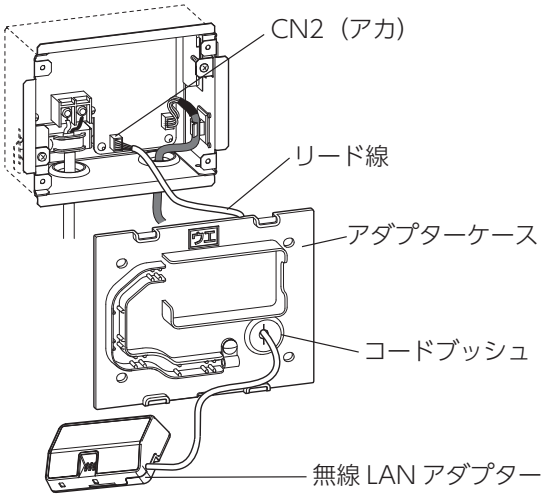
7 無線 LAN アダプターを取付ける

(1) アダプターケースのコードブッシュに無線 LAN アダプターのリード線を通す。

(2) CN2（アカ、無線 LAN 接続）にコネクター（アカ）を接続する。

お願い

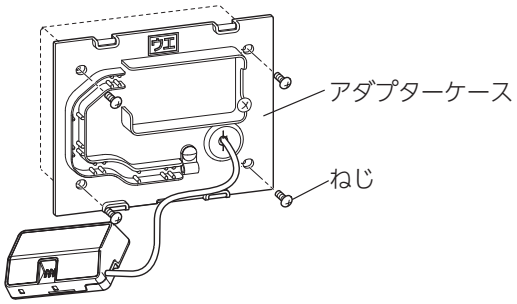
- コネクターは奥まで確実に差し込んでください。



(3) アダプターケースをはずしたねじ 4 本で取付ける。

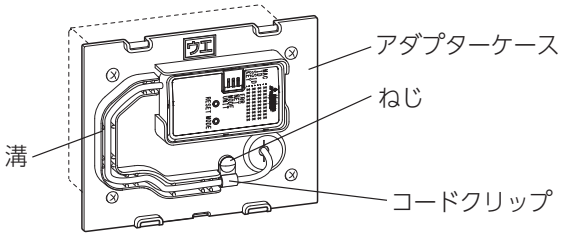
お願い

- 無線 LAN アダプターのリード線を引っ張らないでください。

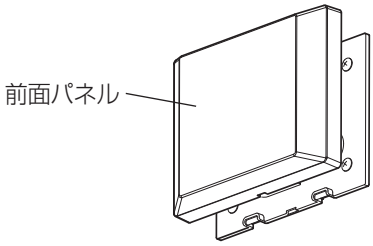


(4) コードクリップを一旦はずし、無線 LAN アダプターをアダプターケースにはめ込み、リード線を溝に沿って指ではめ込む。

(5) はずしたコードクリップでリード線を固定する。



8 前面パネルを取付ける



5.据付後の確認

据付が完了しましたら、裏表紙の表に従ってもう一度点検してください。
不具合がありましたら必ず直してください。（機能が発揮できないばかりか、安全性が確保できません。）

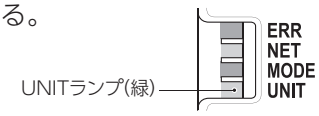
6.試運転

お客様立ち会いで試運転を行ってください。
お客様が不在の場合は、発注者（オーナーなど）または、管理人様立ち会いで行ってください。

1 電源を入れる（ブレーカーを入れる）

2 制御アダプターの確認

制御アダプターの前面パネルをはずし、無線LANアダプターのUNITランプの点滅を確認する。
※UNITランプが5秒間で1回点滅していれば正常です。
※5分経過しても点滅しない場合は、8項「不具合対処（12ページ）」にしたがって配線の接続を見直ししてください。



3 運転の確認

下表に従って動作確認を行う。動作確認後、停止を3秒以上長押しして製品を全停止してからブレーカーを切る。

	操　作	リモコン表示部	☑	内容
暖　房	暖房 ボタンを押す 繰返し押すと機能が切り換わります。	暖房 強 → 暖房 中 → 暖房 弱 → 暖房 微風	□	本体吹出口から温風が出ていることを確認する。
涼　風	涼風 ボタンを押す 繰返し押すと機能が切り換わります。	涼風 強 ⇄ 涼風 弱	□	本体吹出口から風が出ていることを確認する。

4 暖房温度の変更・確認

- 停止 を押しながら 暖房 を押すことで、暖房の設定温度を変更することができます。
  停止 を押しながら 暖房 を押すたびに設定温度が切り替わります。（温度は目安です）
  (40℃→35℃→30℃)
  (設定温度の初期値は「40℃」です。室内が暑すぎるときは設定温度を下げてください)

リモコン液晶表示
(設定温度40℃の場合)

7.お客様への説明

- 外部接続機器（お客様のルーター）との接続は固有情報が含まれるため、お客様自身で接続するようにお願いしてください。工事をされる方が接続する場合は、お客様の同意を得て接続してください。
  （接続方法は、製品に同梱の“「MyMU」アプリ設定用取扱説明書”をご覧ください）
- お客様が不在の場合は、発注者（オーナーなど）または、管理人様へ説明してください。
- 別冊の取扱説明書に従って、正しい使い方をご説明ください。
  とくに「安全のために必ず守ること」の項は、安全に関する重要な注意事項を記載していますので、必ず守るようご説明ください。
- この据付説明書は、据付け後にお客様にお渡しください。
  なお、同梱の取扱説明書および保証書も必ずお客様にお渡しください。
- 制御アダプターに同梱されている設定情報シールは“「MyMU」アプリ設定用取扱説明書”のシール貼付位置に貼り付けてお客様にお渡しください。

8.不具合対処

次のような症状があり、点検の必要があれば必ず分電盤のブレーカーを切ってから点検してください。
※ブレーカーを入れ直す処置をする場合は、ブレーカーを切った後5秒以上待ってから、ブレーカーを入れ直してください。

症　状	原　因	処　置
運転しない	本体に通電されていますか？	ブレーカー点検をしてください 単独で 20A の容量が必要です
停止しない	ヒーター停止後約 30 秒間は冷却運転します	故障ではありません
振動がする	パネルが確実に取付けられていますか？	確実に取付けてください
	取付ねじがゆるんでいませんか？	確実に締め付けてください
温風が出ない ヒーターが途中で切れる（冷たい風が出ている）	脱衣室内の温度が約 40℃を超える場合はヒーターに通電されません	故障ではありません
運転機能を切り換えたときにカチと音がする	リレー接点の切り換わり音です	故障ではありません
運転機能を切り換えたときにきしみ音がする	運転機能切り換え時の動作音です	故障ではありません
無線 LAN アダプターの UNIT ランプが点灯している（点滅とならない）	起動中です	5 分経過しても点滅しない場合は、接続コードが正しく接続されているか確認し、本体・制御アダプターの電源を入れ直してください

■据付後の確認表

内容を再度ご確認いただき、問題がなければチェックボックスにチェックマーク☑を記入してください。

	確認項目	☑
本体据付	本体・パネルの据付けは緩みなどなく、確実に据付けられていますか？ P7	□
	製品の吸込口、吹出口は塞がれていませんか？ P4	□
本体電気工事	電源に漏電ブレーカーは設置されていますか？ P6	□
	電源電圧は単相交流 200V ですか? P6	□
	電源ケーブルは結線図通り結線されていますか？ P6	□
	電源ケーブルと端子台はゆるみなく接続されていますか？ P6	□
	電源ケーブル先端の皮むき寸法は 15mm とし、電源用端子台に芯線が見えなくなるまでしっかりと差し込まれていますか？ P6	□
	アース工事(D種接地工事)を行っていますか? P6	□
	壁スイッチを経由した電源接続を行っていませんか?	□
制御アダプター	電源電圧は交流100Vですか? P9	□
	電源線は端子台にねじ固定しましたか?ゆるみがありませんか? P9	□
	配線はコードクリップで固定しましたか? P9	□
	配線の中間接続を行っていませんか?	□
	据付場所の強度は制御アダプターの質量に十分耐える場所ですか?	□
	前面パネルはしっかり閉めましたか?	□
	制御アダプター接続コードは正しく接続されていますか? P7, 9～10	□
	制御アダプター接続コードは電源線に束ねられていませんか?	□
その他	ルーバーの向きは正しいですか? P8	□

三菱電機株式会社

ご相談窓口
平日　9:00～12:00　13:00～17:00 (土・日・祝・弊社休日以外)
三菱電機 換気送風機技術相談センター……電話　0120-726-471（無料）〒508-8666　岐阜県中津川市駒場町1番3号

この説明書は、再生紙を使用しています。